

そよげ風

山口市立小郡小学校学校だより 3月号

平成24年度No.11 (通算40号)

平成25年2月25日

あいさつについて考える

校長 藤田辰夫

毎朝、昇降口で子どもたちを出迎えています。年度当初に比べ、ずいぶんあいさつが良くなったという印象を持っています。

さて、ある大学の先生が女子大生に「おはよう」と声をかけたところ、彼女は黙ったまま通り過ぎてしまいました。先生は呼び止めてなぜ返事をしないのか尋ねてみると、「先生、人からおはようと言われたらなぜ返事をしなければいけないのですか？」先生「それがあいさつというものでしょう」「でも先生、そんなの変ですよ。朝のテレビでアナウンサーが『おはようございます』と言っても、みんな黙っているじゃないですか。それが普通じゃないですか」――その先生、テレビのあいさつと同一視されてひどく驚いたといっています。

イギリスの家庭教育では、ものを頼む時には「プリーズ」、何かをしてもらったときには「サンキュー」それに「エクスキューズミー」の三つは人間としての基本的なあいさつとしてしつけられているといっています。

本校は、「あいさつ山口市一」を掲げて、PTAの生活教養部やおやじの会のあいさつ運動をはじめ、児童による学級持ち回りで、朝のあいさつ運動を繰り広げています。今回の学校評価アンケートの、あいさつに関する項目で、児童・保護者・教職員3者の結果のばらつきが気になりました。「あいさつはした」と思っても、それが相手に伝わらないと「あいさつをした」とは認識されません。また、あいさつはしたけど、「声が小さい」とか、「表情が良くなかった」とかの付加が付くと、結果、あいさつはよくないという結論になります。

あいさつはまず自分からと心掛けていても、返事らしい返事が返ってこなかった時には「気」は曇ります。しかし、あいさつは、自身の内面を磨くものだと心得れば「おはようございます」の一言にも、「今日も一日よろしく」「お互いがんばろう」という気持ちが表現できます。

ある本に、「あいさつは『・』(中黒点)のようなものです。『人々人々人』と書くと、人はバラバラのような印象を受けますが、『人・人・人・人・人』と書くと、人はつながっているようにみえる。あいさつは、人と人をつなぐものではないでしょうか。」と書いていました。子どもたちに、あいさつをする意味をもう少し考えさせながら、個々に応じた、あいさつの評価がいるのかもしれない。

平成24年度 学校評価アンケート集計表 (平成25年1月18日実施 保護者回収率78.5%)

学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。下記のような結果となりました。今後とも、家庭と学校が連携をしながら、子どもの健全育成に努めていきたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
1 児童	授業は分かりやすく楽しい。	43	47	8	2
1 保護者	学校は、分かりやすい授業を進めている。	38	56	6	
1 教職員	学校は、分かりやすい授業をしている。	44	56		
分かりやすい 授業 考察	授業については肯定率(4そう思うと3ややそう思うの割合)は高いが、「3ややそう思う」の占有率が高いので、工夫して満足度の高い授業改善に努める必要がある。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
2 児童	毎日家庭学習に取り組み、大切なことが身に付くようにしている。	43	39	15	3
2 保護者	学校は子どもたちに基礎学力を付けるよう指導している。	40	53	7	
2 教職員	学校は子どもたちに基礎学力を付けるよう指導している。	54	42	4	
基礎学力 考察	児童の肯定率が低いのが気になる。子どもたちはやらされているという思いが強いのではないか。意識を高め、家庭との連携をもっと深める必要がある。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
3 児童	運動が好きで、いつも元気に体力づくりに取り組んでいる。	50	31	14	5
3 保護者	学校は子どもたちが元気に育つよう体力づくりを行っている。	42	50	8	
3 教職員	学校は子どもたちが元気に育つよう体力づくりを行っている。	16	42	42	
体力づくり 考察	児童・保護者に比べて、教職員の否定率(2あまり思わないと1思わないの割合)が高い。教職員は今以上に体力づくりの必要性を感じている。教育活動全体を通じた体育的な活動を充実させていく必要がある。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
4 児童	読書が好きでよく本を読んでいる。	34	35	22	9
4 保護者	学校は、子どもの読書意欲を高めるために読書指導をしている。	37	50	12	1
4 教職員	学校は、子どもの読書意欲を高めるために読書指導を行っている。	58	38	4	
読書指導 考察	児童の肯定率が低いのは意外である。学校での時間の確保には限界があるので、「家読」をいかに充実させるか今後の課題である。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
5 児童	学校へ行くのは楽しい。	61	29	8	2
5 保護者	子どもたちは、学校へ行くのを楽しみにしている。	49	45	6	
5 教職員	子どもたちは、学校へ来るのを楽しみにしている。	30	67		3
学校が好き 考察	学校へ行くのが楽しい、と思っていない児童が10%いるのが気になる。理由はいろいろだろうが、児童への聞き取り等を通して解決に当たりたい。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
6 児童	学校や家庭・地域でもよくあいさつをしている。	40	43	15	2
6 保護者	子どもたちは、家庭や地域で日常のあいさつができています。	22	49	26	3
6 教職員	子どもたちは、日常のあいさつができています。	4	37	48	11
あいさつ 考察	3者のバラツキが気になる。それぞれの思いがあると思うが、あいさつ運動の充実と意識の改革を今後進めていく必要がある。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
7 児童	学校の施設や道具はいつも安全に使っている。	66	29	4	1
7 保護者	学校は、児童の安全確保に努めている。	35	56	8	1
7 教職員	学校は、児童の安全確保に努めている。	30	60	3	7
安全確保 考察	児童・保護者・教職員ともに、肯定率は90%を超えている。教職員の否定率(2あまり思わないと1思わないを選択した割合)が10%あり、不足している点を改善しながら、さらに安全確保の指導に努めていく必要がある。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
8 児童	学校のルールやきまりをよく守って生活している。	28	58	12	2
8 保護者	学校は、ルールやマナーなどについて適切な指導を行っている。	32	57	10	1
8 教職員	学校は、ルールやマナーなどについて適切な指導を行っている。	37	56	7	
ルール・マ ナー考察	学校では充分指導を重ねているのに対し、児童・保護者の否定率がやや高い。原因を探りながら、指導が徹底できるようにしたい。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
9 児童	先生は自分のよさや気持ちを分かってくれ、問題が起こったときにはすぐ動いてくれる。	53	34	9	4
9 保護者	学校は、子どもをよく理解し、適切に対応している。	24	61	14	1
9 教職員	学校は、子どもをよく理解し、適切に対応している。	30	67		3
児童理解	教職員の否定率は3%に対して、児童と保護者は10%を超えている。児童理解については、教職員と児童・保護者とのコミュニケーションを進め、理解を深めていきたい。				

番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
10 児童	学校では、命の大切さや他人に対する思いやりの心、やさしさなどについて学習する機会が多くある。	46	42	10	2
10 保護者	学校は、命の大切さや人権を大切にすることを育てる教育活動を行っている。	36	57	6	1
10 教職員	学校は、命の大切さや人権を大切にすることを育てる教育活動を行っている。	45	48	7	
人権教育 考察	人権教育については、概ね3者とも肯定率は高い。さらに日常からの教育活動全体を通して人権教育を推進していく必要がある。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
11 児童	いじめのない学校づくりに先生友だちみんなと取り組んでいる。	39	41	15	5
11 保護者	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	26	60	12	2
11 教職員	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	55	45		
いじめ 考察	児童・保護者の肯定率が100%になるよう、学校もいじめの早期発見と適切な指導の徹底、さらに、そういうことが起こらない学級づくりを実現する必要がある。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
12 児童	学校からのプリントについて家で話題になることがある。	35	33	21	11
12 保護者	学校は、教育方針や教育活動を学校だよりやホームページなどで分かりやすく伝えている。	36	52	10	2
12 教職員	学校は、教育方針や教育活動を学校だよりやホームページなどで分かりやすく伝えている。	74	26		
情報発信 考察	学校からの紙媒体の発信については、家庭でのコミュニケーションの一助となってほしいと思う。今後も情報発信については、努力をしていきたい。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
13 児童	学校でのできごとについて、家でよく話をする。	56	25	13	6
13 保護者	学校は、子どもたちのことについて家庭との連絡を密にし、情報を伝えている。	29	50	20	1
13 教職員	学校は、子どもたちのことについて家庭との連絡を密にし、情報を伝えている。	48	52		
家庭との 連絡考察	家庭への連絡等については、やや不満をもっておられる保護者もいるようだ。連絡帳や電話等を使ってさらに保護者との連絡を密にしていかなければならないが、家庭でも子どもとのコミュニケーションが図られるようお願いしたい。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
14 児童	学校ではみんなが楽しく過ごせるように心がけたり工夫したりしている。	41	46	11	2
14 保護者	学校は、学校以外からの意見や要望に耳を傾け反映しようとしている。	19	62	18	1
14 教職員	学校は、学校以外からの意見や要望に耳を傾け反映しようとしている。	55	45		
学校以外から の意見考察	学校の姿勢や思いは、汲み取っていただいていると思うが、環境や施設など学校だけで対応できないものもある。1つずつ地道に解決にあたりたい。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
15 児童	参観日や学校行事の時、家の人や地域の方が学校によく来てくれる。	55	27	12	6
15 保護者	学校は、保護者や地域の方が来校しやすい環境づくりに努めている。	35	54	10	1
15 教職員	学校は、保護者や地域の方が来校しやすい雰囲気がある。	30	60	10	
来校しやすい 環境考察	学校は来校しやすい雰囲気づくり、環境づくりに努力している。さらに来校しやすい環境や雰囲気づくりに努力していく必要がある。				
番号	設 問	4そう思う(%)	3ややそう思う(%)	2あまり思わない(%)	1思わない(%)
16 児童	地域の行事などによく参加して、家の人や地域の人と一緒に取り組んでいる。	42	34	16	8
16 保護者	学校は、地域の教育力を活用した学習に取り組んでいる。	28	56	15	1
16 教職員	学校は、地域の教育力を活用した学習に取り組んでいる。	27	35	38	
地域の教育力を 活用した学習考察	学年の学習内容によって取組状況に差が出ている。地域人材・素材をどう教育活動に取り入れていくか、今後の課題としたい。				

運動会の開催曜日について

アンケートの結果、運動会の開催曜日につきましては、次のような結果となりました。

・土曜日開催 49.4% ・日曜日 30.0% ・どちらでも良い 20.6%

日曜日が3割を占めているのは意見としては尊重したいと思いますが、土曜日開催が約半数を占めましたので、土曜日開催としたいと思います。なお、これを受けて、次年度の運動会は6月1日(土)に開催する予定であることを申し添えます。

また、自由記述欄にご記入いただきました内容につきましては、今後の学校運営に生かして参ります。ご協力ありがとうございました。



☆3月の行事予定

☆4月の行事予定

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
3	日	スプリングコンサート	8	月	始業式
4	月	全校漢字大会	9	火	入学式 給食開始
5	火	6年生を送る会(2・3校時) PTA役員会(19:00ランチルーム)	10	水	学友区児童会
7	木	集金日(給食・学年) スクールカウンセラ ー来校 学校保健委員会(14:00)	11	木	身体測定(2・5年)
8	金	3年生お別れ遠足	12	金	1年生給食開始 身体測定(3・4年)
12	火	ALT来校	16	火	身体測定(1・6年) 参観日 学級懇談会
14	木	スクールカウンセラー来校	22	月	歯科検診(4~6年)
18	月	6年生給食終了	23	火	校納金集金日 歯科検診(1~3年)
19	火	卒業証書授与式(4年生以上が参加)	24	水	全国学力・学習状況調査(6年) 家庭訪問(山手下・柳井田全域)
20	水	春分の日	25	木	家庭訪問(山手上・尾崎)
22	金	小郡中学校仮入学	26	金	家庭訪問(金堀・円座全域)
25	月	5年生以下給食終了	28	日	参議院議員補欠選挙(ミーティングルーム)
26	火	修了式	29	月	昭和の日
27	水	学年末・学年始め休業開始	30	火	家庭訪問(中央通・田町・津市全域・大 正上中・明治北)
28	木	スクールカウンセラー来校			
29	金	離任式	5月1日(水)		家庭訪問(新丁・東津全域・本橋・ 蔵敷)

☆☆最近の行事の紹介☆☆

<6年生「総合的な学習の時間」感謝の気持ちを伝えよう>

6年生は、1学期から「総合的な学習の時間」に、「自分の将来を見つめよう」(25時間)というテーマで学習に取り組んできました。その中で、校区内の職場見学も行い、将来の自分の夢やなりたい職業等について考える機会を設けることができました。

3学期は「感謝の気持ちを伝えよう」(18時間)というテーマでお世話になった人たち(地域・学校・先生・家族・下級生・友達)に感謝の気持ちを伝える学習を行いました。

1月23日(水)には、華道の先生をお招きして、華道の歴史を学び、その心を感謝の気持ちに表しました。華道の先生のご指導の下、お花を生けました。華道の先生からは、「自分の考えをはっきりと述べるのが大切であること、生け花はアンバランスの中に美しさを求めたものである。お花を学ぶことは、人生を学ぶことである」等のお話がありました。子どもたちは、写真のような生け花を作り、お世話になった職場に持参しました。感謝の言葉をもらった子どもたちは満足した一日となりました。



<1年生昔の遊び大会>

1月30日(水)、1年生は「昔の遊び大会」を実施しました。友達や大人と伝承的な遊びをしながら、季節を味わったり、人とかかわって集団で遊ぶ楽しさを味わうことを目的としています。

子どもたちは、教室では、おりがみ、おはじき、あやとり、お手玉、けん玉、めんこ、中庭では竹馬、かんぼっくり、こま回し、竹とんぼに分かれ、遊びました。

子どもたちからは、次のような感想がありました。

- ・きょうむかしのあそびたいかいをしました。かんぼっくりのあそびをしました。おばあちゃんがしんせつにおしえてくれたので、すぐにじょうずになりました。おばあちゃんが「すごい、すごい、すごい」っていつてくれたので、すごうれしかったです。・竹うまがじょうずにできたのはおじいちゃん、おばあちゃんのおかげです。竹うまは、みたことはあるけれど、のったことはいちどもありませんでした。けれど、おしえてもらいできるようになりました。ほんとうにありがとうございました。また、いつでも来てください。まっています。

老人クラブの皆様、ご協力をありがとうございました。

文責(教頭 水野 昭)